

2. 社会経済要因と尿中ナトリウム、カリウム排泄量の関連：NIPPON DATA2010

研究協力者	宮川 尚子	(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員助教)
研究分担者	奥田奈賀子	(人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 教授)
研究分担者	中川 秀昭	(金沢医科大学総合医学研究所 嘱託教授)
研究協力者	嶽崎 俊郎	(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻国際島嶼医療学講座 教授)
研究分担者	西 信雄	(医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター センター長)
研究分担者	高嶋 直敬	(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 助教)
研究分担者	藤吉 朗	(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授)
研究分担者	大久保孝義	(帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 主任教授)
研究分担者	門田 文	(滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任准教授)
研究分担者	岡村 智教	(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授)
研究分担者	上島 弘嗣	(滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授)
研究分担者	岡山 明	(生活習慣病予防研究センター 代表)
研究代表者	三浦 克之	(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授)

【目的】

国民代表集団である NIPPON DATA2010 の参加者を対象とし、ナトリウム(Na)とカリウム(K)摂取量の評価に客観的指標である尿サンプルを用いて、社会経済要因(SES)との関連を検討した。

【方法】

平成 22 年国民健康・栄養調査に合わせて実施された「循環器病の予防に関する調査(NIPPON DATA2010)」の参加者のうち、検査値に欠損のない 2,560 人(女性割合 56.6%、20 歳以上)を対象とした。田中式(Tanaka T, et al. J Hum Hypertens. 2002)を用いて随時尿から推定 24 時間尿中 Na、K 排泄量を算出し、推定 Na、K 排泄量および随時尿中 Na/K 比と SES(等価支出、教育歴、職業)の関連について、年齢、居住地域、婚姻・同居者有無、体格を共分散分析で調整して性別に検討した。等価支出は 1 か月の家計支出を世帯人員の平方根で除して求め、性別に五分位に分けた。職業は国民健康・栄養調査の分類を用いて業種で 4 グループにまとめた。教育歴と職業は年齢と交互作用を認めたため 65 歳で二分して解析した。

【結果】

推定 24 時間尿中ミネラル排泄量は男女の順に Na(食塩換算, g/24hr):10.3, 10.1g; K(mg/24hr):1658, 1611; 随時尿中对数変換(log)Na/K 比(mol/mol):1.28, 1.30 であった。等価支出が下がるほど男女ともに推定 K 量が減少し(男性:Q5=1704, Q1=1599; 女性:Q5=1615, Q1=1544)、log Na/K 比は女性で増加した(Q5=1.21, Q1=1.38)。教育期間が短いほど、65 歳未満の男女ともに log Na/K 比は高く(男性:<10 年 1.52, 13 年 1.27; 女性:<10 年 1.32, 13 年 1.17)、65 歳以上の男女ともに

推定 K 量は減少した(男性<10 年 1615 , 13 年 1712 ; 女性<10 年 1556 , 13 年 1646)。また生産工程・労務作業に従事する 65 歳未満男性の log Na/K 比は高かった(1.52)。

【結論】

NIPPON DATA2010 の対象者において, SES は尿サンプルを用いて評価した食塩およびカリウム摂取と著明な関連を示した。

第 40 回 日本高血圧学会総会 (2017 年 10 月 20 日 ~ 22 日, 松山) 発表

***J Epidemiol.* 2018;28(Suppl 2):S29-S34**